

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束における委員会を法人内では作っているみたいだが、グループホーム単独での身体拘束委員会を作り、3ヶ月に1回以上会を開催することが望まれる。	グループホーム単独での身体拘束委員会を作り、3ヶ月に1回以上会を開催する。	法人での身体拘束委員会を基本とし、グループホーム内でのメンバーの選出し、グループホーム単独での身体拘束委員会を3ヶ月に1回以上会を開催する。	6 か月
2	4	コロナ禍において令和2年の途中より、運営推進会が行えていない状況が続いているが、委員の方々からの意見のに対する記録が無いので、今後は意見などの記録として残していくことが望まれる。	運営推進会の意見をまとめた記録として作成する。	運営推進会議用の資料報告の際に、各運営推進委員、利用者、利用者家族に対しての聞き取りを行って記録として残し、次回の会議用資料に反映する。	6 か月
					か月
					か月
					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。